



本協議会は、竹に関する団体や個人の有機的な幅広い交流を図ることを目的とし、竹に関する情報の提供やイベント開催などを鳥取県内の産学官民の各機関で連携して行っています。



会長 佐野 淳之

森林教育研究所 所長
元 鳥取大学農学部教授

昨年は南部町での竹林管理体験と米子北高校とコラボして竹灯籠作りを行いました。恒例の竹利用フェスティバルは山口県で先進的な竹事業を展開されているエシカルバンブーの田澤恵津子さん、パンダフェイスパックを開発された竹鳥取物語の田中静雄さん、竹炭を活用したコーヒーの重岡勝巳さんをお招きして開催しました。いずれも多くの参加者に恵まれ好評でした。

また竹イノベーション研究会にて本協議会の歴史と活動について報告してきました。会場となった山口県宇部市の竹ラボでは、旧小学校の校舎をフルに活用して竹に関する展示やワークショップが行われていました。私が個人的に惹かれたのは竹自転車でした。

今年度の竹利用フェスティバルでは、竹の専門家や竹を活用している方々とともに、鳥取市内でネザサの調査を行っている高校生にも登壇して頂きます。120年に一度と言われていたハチクの開花が数年前に見られましたが、最近ではネザサの開花が観察されています。皆さまの周辺でも竹類の開花を見かけたら教えて頂ければ幸いです。

2023竹林整備と竹材利用の体験イベントを開催しました

2023年11月5日(日) 9:30～15:30

竹林整備の必要性と竹の活用について理解を深めていただくための体験バスツアーは、コロナ禍で中止及び縮小開催していましたが4年ぶりに終日のバスツアーを開催しました。

今回は、旧国鉄倉吉線廃線跡(倉吉市関金町)の竹林を整備し、やまもり温泉キャンプ場で昼食にタケノコ汁を食べ、竹灯り作りを楽しみました。

旧国鉄倉吉線廃線跡の竹林整備では、一般の観光客がいる中で皆で声を掛け合い安全に竹を伐採したほか、伐採した竹をトロッコで運び出す等、鉄道ならではの体験もできました。やまもり温泉キャンプ場では、限られた時間の中、汗をかきながら必死に竹灯りを作成する姿がとても印象的でした。



竹利用フェスティバル ～一緒に考えよう。竹と私たちのこれからを。～

今年は子供のうちから竹に親しんでもらおうと子供連れの家族を呼び込むため、フリースペースでは例年の竹製品の制作体験・展示・販売に加え、3月3日のひな祭りにちなんだひな人形づくり、森のようちえんの竹細工作り、「木づかいの国とっとり」とのコラボによる木育広場の設置を行いました。

午前中から家族連れ等の来場者が多く、制作体験が終了してしまうものもありました。親子で竹のおもちゃを制作したり、見たことのない竹製品について興味深く説明を聞いている姿が見られ、多くの子供たちに竹に触れ、竹について学んでもうることができました。

また、出展者においても異業種間での交流や情報交換をされており、今後につながるよい機会となりました。

講演会では、山口県からエシカルバンブー（株）の田澤さんをお招きし、熱い想いや事業内容についてお話しいただいたほか、県内企業の竹製品の開発・販売の事例をお話いただきました。質問が多数出るなど非常に興味深い内容で、多くの事業体が参考になったことと思います。また、田澤さんは講演終了後も来場者から個別相談を受けられる等、神対応をしていただきました。

◆とき：2024年3月3日（日） 10:00～15:00

◆ところ：とりぎん文化会館（鳥取県立県民文化会館）



講演会① 「新たな竹産業の構築へ挑むエシカルバンブーの取組」

エシカルバンブー株式会社
代表取締役社長 田澤恵津子

山口県防府市でまると竹を使ったエコな商品を開発し、国内だけでなく海外展開もされている企業で、講演いただいた田澤氏は竹イノベーション研究会で中国（四国）支部長を務められています。

講演では、事業の設立から歩み、企業理念、出口戦略、苦労話等、幅広い内容でお話いただき、限られた時間でとても充実した内容でした。

特に企業理念について、エコをエゴにしない等、環境への配慮には熱い想いを感じました。

竹の産業に限らず、すべての産業に共通する内容となっており、貴重な講演になったことと思います。



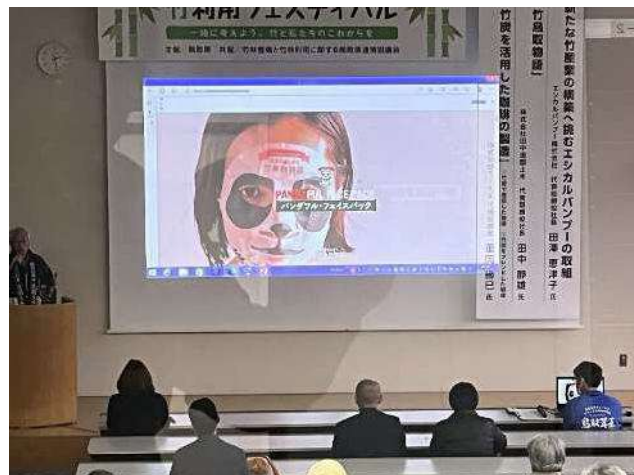
講演会② 「竹鳥取物語」

田中造園土木
代表取締役社長 田中静雄

鳥取市国府町で造園業を営みながら、竹から抽出した水を利用し、フェイスパック等の商品開発・販売をされています。

独自の方法で竹から抽出した水にコラーゲン発現効果が見いだされたことから、美容に関する商品開発を行い、男性をターゲットにフェイスパック販売されています。

商品名は『竹鳥取物語』と鳥取県にちなんだ洒落を効かせたネーミングで、今後シリーズ化された商品開発が期待されます。



講演会③ 「竹炭を活用した珈琲の製造」

株式会社Ties
代表取締役 重岡勝巳

米子市で仕出し料理 縁を経営されながら、同市で珈琲舎enも経営されています。珈琲舎enは100年以上の歴史のある蔵を改装した隠れ家のような店舗で、鳥取県産の竹炭で焙煎した竹炭焙煎珈琲を販売されています。

使用している竹炭は、西伯郡大山町にある(有)松本建設が珈琲用に特別に製造されたもので、(有)松本建設から竹炭の製造過程についての講演もいただきました。フリースペースの展示会場では試飲ができる等、竹炭焙煎珈琲を堪能することもできました。



ニューフェイス 紹介

協議会に新しく入ったメンバーを紹介します！



鳥取市 岡村真由美さん
(R5.10月入会)

鳥取市若桜街道中央でメガネ屋(フタバ時計眼鏡店)と隣接するペーパークラフトの店舗(ペーパーデコレーションフタバ)で日常過ごしております。

鳥取東部を中心に幼稚園からデイサービスまで紙工作の講師として活動しています。

竹については、大阪育ちの私が初めて食べたちまきがきっかけでした。殺菌作用の事を知り、子どもが小さい頃より竹酢液を掃除や家庭菜園、虫除けなどに使用しています。

竹と紙とのコラボでみなさまを楽しく出来ればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

(店舗情報) 鳥取市戎町115 TEL: 0857-22-3082

米子市上後藤で、珈琲の自家焙煎をしています。米子市法勝寺町の蔵の中に、直営喫茶店があります。鳥取県産の竹炭で焙煎したコーヒーを中心に、色々なコーヒー豆を販売しています。

伐採された竹炭で焙煎した商品を販売する事で、少なからず竹の消費やCO2削減にも繋がります。

今後は、竹炭焙煎珈琲の売上の一部を竹林整備事業に寄付させていただく事を検討しています。

(店舗情報) 珈琲舎en 米子市法勝寺町22 善五郎蔵1F
TEL: 080-1921-4563



米子市 重岡勝巳さん(R5.12月入会)

七夕★県庁ロビー展示

県庁ロビーにおいて、7月6日から7月25日までの間、七夕の星つながりで、『星（乾）しいたけ』とコラボした竹材利用の展示ブースを設置しました。笹竹の七夕飾りと竹灯籠で飾り付けし、竹の利活用方法についてPRしました。

竹灯籠を灯した柔らかな光で、県庁ロビーの一角が風情ある景色になっていました。

また訪れた方が短冊を願いを込め、笹竹に飾られている様子も見られ、飾りでいっぱいの笹竹となりました。



■竹林整備と竹材利用体験イベント

竹の伐採・搬出と伐った竹を使った工作体験

【日時】2024年8月24日 9:30～15:30

【場所】西伯郡南部町清水川神社及びプラザ西伯

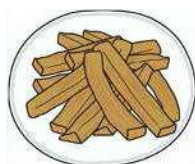


■竹利用フェスティバル

竹材利用に関する取組を紹介する講演会や、竹製品の展示・販売・製作体験

【日時】2025年2月16日 10:00～15:30

【場所】とりぎん文化会館（鳥取市尚徳町）



竹林対策の支援制度をご紹介します

竹林整備事業（豊かな森づくり協働税関連事業）

竹の抜き伐り、循環利用型皆伐、管理道及びアクセス道の開設及び伐採竹の搬出などの竹林の整備に要する経費を支援します。

事業主体 市町村、森林組合、森林所有者、竹林整備及び管理協定締結者

補助率 8/10、伐採竹の搬出については定額1,200円／m3又は1,000円／t

竹を駆除して森林を再生させたいときは・・・

竹林の伐採・植林及びその後の下刈り（最大5年間）や人工林への侵入竹の駆除を行う場合に要する経費を支援します。

事業主体 市町村、森林組合、森林経営計画作成主体、森林所有者等

補助率 8/10 ～10/10

入会の申し込み、ニュースレター、パンフレット等のご請求、竹活用情報の提供は、下記までご連絡ください。



竹林整備と竹材利用に関する鳥取県連携協議会 事務局
鳥取県農林水産部森林・林業振興局県産材・林産振興課（担当：大原、柳澤）
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220
TEL：0857-26-7308 FAX：0857-26-8192
E-mail：kensanzai-rinsan@pref.tottori.lg.jp